

弟の天くん  
姉の奈堂さん

でどろろ  
んの!?

勤行編

10 三綱五常報恩  
天地宇宙  
万物の御恩



でも人間は  
雨水や空気を  
きれいにしたり  
植物や稲を  
改良したり  
太陽の光を  
電気に変え  
生活してるよね



それは人間が  
大自然の恵みに  
手を加えて  
使っているだけで  
ゼロから作り出す  
ことはできないじゃ

すべて  
大自然



しかもみんな  
タダなんじゃよ  
みんな  
タダ？  
前回の  
ヒント  
『みんなタダ』  
のことね！

それは地球が  
ある限り  
尽きることなく  
平等に与えられて  
いるんじゃよ  
それが

天地宇宙万物の御恩  
なんじゃ



でもタダで  
たくさんあるなら  
好きに使っても  
いいんじゃないの？

ゼロ円  
っ。

金剛さまの  
考えはこうじゃ

使われた

湯たんぽのお湯で

朝の洗面をし、

残った水を

植木にかけられ、

お側の者に

「決してお金を

惜しんでやっている

わけではない

と申されたと

伝えられている。

なぜ  
そうされたのだ  
と思う？



水は神様が

くれたものだから？

そうじゃ。

水や空気は

たくさんあって

「タダ」としても

そこには

お金にかえられない

価値がある。

なぜなら

神様から頂いた

水も空気も

命のもとであり、

それを粗末に

することは、

命を粗末に扱う

ようなものだからじゃ。

金剛さまは感謝して

大切に扱うことを

実践されたんじゃないよ







## 大自然の恵みは 感謝して使わせていただく

地球温暖化を巡って先進国の政治家は、経済活動を優先して資源を使うべきだと主張し、各国の青年たちは、未来の自分たちのために自然保護をすべきと主張しています。両者は激しく対立していますが、地球の資源を使う資格が自分たちにはある、という視点では同じです。一方、金剛さまは、水や空気などすべては大自然の運行の中で恵まれるもので、人間には何ひとつ作り出せないものという根本を見られており、そこに感謝の心を持つことが、大自​​然の法則に沿った人間の基本であると示されています。

「資格があるから使うのは当然」と「使わせていただくのは有り難いこと」では、全く違う考え方です。使うのが当然ではなく、感謝が必要だけ使わせていただく、自然にお返しするという意識に切り替えることが、地球温暖化をはじめとする未来を切り開く道につながるのではないのでしょうか。